

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない!

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2012.11.29 No. 3 2

原子力空母GW横須賀基地に入港 来春まで居座る!

横須賀基地に入港する原子力空母GW



十一月二十日、原子力空母GWが横須賀基地に入港しました。横須賀基地に二ヶ月ぶりで入港したGWは、西太平洋で軍事演習を実施しての帰港です。
配備されて以来四年二ヶ月が経ち、当然のように入港することを許してはいけません。また、来年の五月初旬まで、定期修理をを実施し、いつ県民に危険を及ぼすことになりま。大地震による空母の原子炉事故も懸念されます。
母港撤回の運動を広げましょう。



県原水協・県平和委員会は、21日抗議の宣伝行動を実施。

県原水協・横須賀原水協・県平和委員会は11月21日、原子力空母の横須賀基地入港に抗議する申し入れを行いました。申し入れ書は、米海軍横須賀基地に出向き、司令官宛に手交しました。

その後、京急横須賀中央駅で、緊急の抗議宣伝を行いました。40分間で、4人から声をかけられ「原子力空母は居てほしくない」「大地震が来たら心配だ」「何か私にもできることはやりたい」などの声が寄せられました。宣伝・署名は25日も実施。

中原平和を願う原爆展開催

11/16~21 500人が足を運ぶ

川崎市中原区市民館ギャラリーで原爆展が開催されました。6日間で500人の市民が訪れました。

《核廃絶の運動》《広島・長崎から目をそむけない》《原発も空母もゼロ》《福島原発事故 どうなっているの?》の展示コーナーは豊かな内容でした。また、市民・子どもの平和を願う作品も展示。

21日は、内部被曝の話と被爆体験を聞く会も行われ50人が参加。



原子力空母GWの展示コーナー

川崎市と教育委員会の後援も受け、東京新聞が報道しました。

県内高校生6人県原水協を訪問

核兵器などについてしり受ける

十一月二十日、県内の私立高校生六人が県原水協の事務所を訪れ、授業の一環として核兵器や被爆者などについて学んで帰りました。事前に①世界唯一の被爆国についてどう思うか②核兵器をなくすことは可能か③核兵器を禁止・制限する条約の効果は?④イランや北朝鮮の核開発をどう止めるかなどの4つの質問が届けられました。質問は現在の原水禁運動の核心を成すものです。資料も用意し丁寧に答えると真剣にメモをとりながら聞き質問も。高校生の真摯な学ぶ態度に、核廃絶の未来を感じ感動。結果を学年全員の前でパワーポイントで発表のこと。

11日の横須賀基地の原子力艦船の入港

- ◆ 11月15日(木) 原子力潜水艦ジャクソンビル(865回目)
- ◆ 11月20日(火) 原子力空母GW(866回目)

原水協は抗議の申し入れをおこないました。